

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所

電子公告により行う。
公告掲載URL
https://www.jeol.co.jp/corporate/ir/public_notice/index.html
公告方法
(ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

JEOL 日本電子株式会社

〒196-8558
東京都昭島市武蔵野3-1-2
TEL.042-543-1111 FAX.042-546-3353

**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

**VEGETABLE
OIL INK**

ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C013080

WEBサイトのご紹介

株主の皆様にご理解いただくため、主な当社製品の仕組みや応用についてわかりやすく解説するページや、用語集など充実を図っています。

詳しくはトップページの「やさしい科学」、「用語集」からご覧ください。



<https://www.jeol.co.jp/>

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6951

いいかぶ

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元
に到着してから約2ヶ月間です。 **ご回答いただいた方の中から抽選で厚謝
(図書カード500円分)を贈呈させていただきます**

●本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主
リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ
以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

アンケートに
ご協力ください
抽選で
図書カード500円分を
プレゼント



JEOL
Solutions for Innovation

第74期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

日本電子株式会社
証券コード：6951

走査電子顕微鏡
JSM-IT700HR
InTouchScope™



経営理念

日本電子は「創造と開発」を基本とし、常に世界最高の技術に挑戦し製品を通じて科学の進歩と社会の発展に貢献します

代表取締役会長兼CEO

栗原 権右衛門

代表取締役社長兼COO

大井 泉



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。ここに第74期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が見通せず、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いています。

このような状況下、JEOLグループは、中期経営計画「Triangle Plan 2022」(2019年度～2021年度)に掲げる重点戦略を強力に推進し、当中期経営計画期間のみならずそれ以降の更なる成長に向け

た次の打ち手を実行することにより企業価値の向上および経営基盤の強化を図りつつ、受注・売上の確保に努めました。この結果、後記にご報告のとおり業績となりました。

配当につきましては、業績および財務状況等を勘案した結果、中間期での配当を1株当たり12円とさせていただきます。

株主各位におかれましては、一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2020年12月

Triangle Plan 2022

(2019-2021年度)

中期経営計画「Triangle Plan 2022」では、「Triangle Plan」の方向性を基本としながら、「70年目の転進」による成長の加速と中期経営計画以降の更なる成長に向けた次の打ち手を実行することで、長期にわたる継続的な成長を目指します。

コーポレートメッセージ Solutions for Innovation

お客様の明日への革新を実現する最適なソリューションを提供します

基本的な考え方

創立70周年を迎える中「70年目の転進」として以下に取り組んでいきます。

1 コアテクノロジー強化

JEOLグループが社会に提供する付加価値の源泉であるハイエンドの計測・分析技術(=コアテクノロジー)を継続的に発展させていく。

2 成長市場への積極参入

コアテクノロジーをベースに、規模が大きく更なる拡大が見込まれる市場(半導体機器/産業機器/バイオ・医用機器/海外)へ積極的に参入し、成長を加速させていく。

3 トータルソリューションの提供

装置だけではなくユーザーのワークフロー全体を見据え、使い勝手の向上や効率化につながるサービスを含めたトータルソリューションを提供していく。

4 必要な投資と収益性向上への取り組み

事業の規模や範囲が拡大していく中で事業機会を確実に取り込むため、必要な投資をタイムリーに行っていく。同時に効率化を推進し収益性の向上に不断に取り組んでいく。

数値目標 [2021年度目標]

連結売上高 **1,340** 億円 連結経常利益 **100** 億円

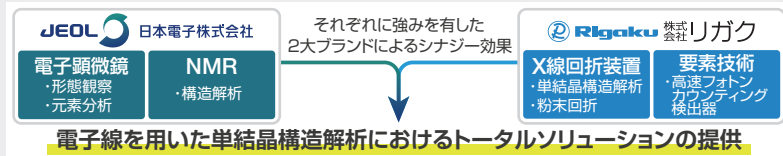
トピックス (2020年4月～9月)

2020年 4月 5月 6月 7月 8月 9月

5月

（株）リガクとの電子線回折による微小単結晶構造解析 (MicroED) プラットフォームに関する共同開発

X線回折装置のリーディング企業である（株）リガクと電子線回折を用いた微小単結晶構造解析プラットフォームの共同開発に関して合意しました。当社の透過型電子顕微鏡と（株）リガクの高感度超高速半導体検出器および単結晶構造解析ソフトウェアを組み合わせることで、測定から解析までのフローを一体化したMicroEDのトータルソリューションを提供します。両社のコア技術の相乗効果によって生まれる日本発「電子線単結晶構造解析 (MicroED) プラットフォーム」により、最先端の研究の現場で求められるナノメートル・レベルの極微小結晶からの分子構造の解明に貢献します。



8月

新型走査電子顕微鏡 JSM-IT700HRを販売開始

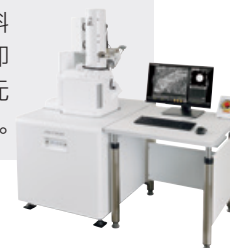
—毎日つかうSEM。だから、使いやすく。—

ハイスループットを追求した、新型走査電子顕微鏡JSM-IT700HRを開発し、販売を開始しました。

微細化していく試料を日常的に測定しなければならないという声から、JSM-IT700HRは、ご好評をいただいているInTouchScope™シリーズにインレンズショットキー電界放出電子銃を搭載し、誕生しました。

最高分解能1nm、最大照射電流300nA(従来機15倍)を発揮する電子銃は観察・分析に余裕を感じさせてくれます。さらに、シンプルな操作にこだわったユーザーインターフェイスとコンパクト設計でありながらも大きな試料室も装備、従来機から一新された架台による耐振性の向上も「見える」よりも「楽に見える」。>を実現しました。

また、「使いやすく。」の向上のため、新たに「信号深さ表示機能」を追加し、測定している試料の分析深さ(目安)を即座に知ることができ、元素分析の際に有効です。



6月

（株）JEOL RESONANCEが経済産業省認定「グローバルニッチトップ (GNT) 企業100選」に

（株）JEOL RESONANCEは、経済産業省認定「2020年版「グローバルニッチトップ (GNT) 企業100選」に選定されました。

2020年版「GNT企業100選」は、2013年以降に変化した事業環境においてもニッチ分野で勝ち抜いている企業等を認定・顕彰するものであり、今回JEOL RESONANCE製核磁気共鳴装置の優れた技術が世界の科学技術に貢献していること、および海外での売上が順調に伸びていることが評価され、「電気・電子部門」で選定されました。

当社は、2013年度に透過電子顕微鏡の優れた技術が世界の科学技術に貢献していること、および世界的に高い市場占有性が評価され、「電気・電子部門」の「GNT企業100選」に選定されています。



イベント

9月

「ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム 次世代へのメッセージ」への協賛

「ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム 次世代へのメッセージ(第1回福島県セッション)」(主催:読売新聞社、福島民友新聞社、福島中央テレビ、後援:外務省、文部科学省、NHK/いわき芸術文化交流館アリオスで開催)において、当社は、科学振興と社会貢献の立場から、昨年に引き続き協賛社となりました。当日会場では体験コーナーを設け、中高生らに卓上走査電子顕微鏡の操作を体験していただきました。本フォーラムは、若い世代への創造精神の啓発を目的としており、「化学で地球を守る」をテーマに吉野彰氏(旭化成(株)名誉フェロー)および野依良治氏(名古屋大学特別教授)が基調講演を行いました。



持続可能な開発目標 (SDGs) への取り組み

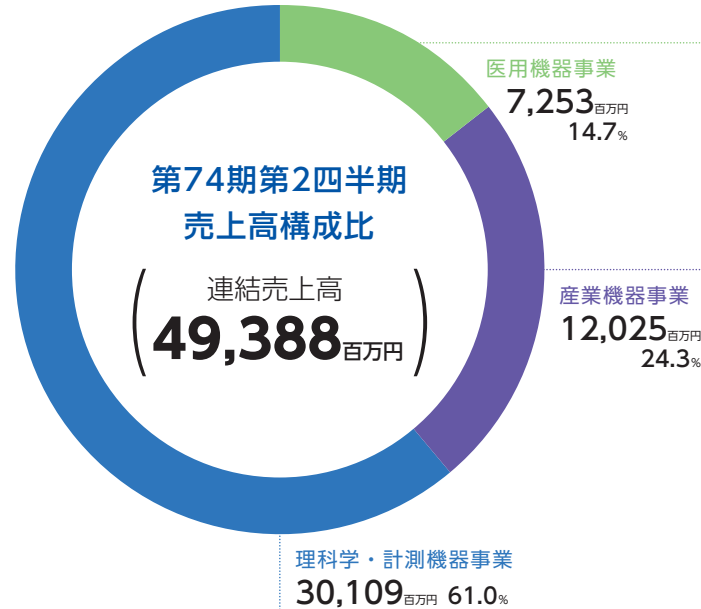
経営理念のとおり、当社は最先端の科学研究に深く関与し、社会の課題解決や発展に取り組んできました。SDGsに貢献できる企業として、更なる発展を目指します。

	マテリアリティ	ターゲット目標
	人々の健康と安全、安心に貢献する製品の提供	3 持続可能な消費と生産 11 持続可能な都市とコミュニティ
事業活動を通じて達成を目指すSDGs目標	科学の進歩と社会の持続的発展に貢献	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	地球環境の保全と持続可能性に貢献	7 再生可能エネルギーに力をつける 12 つるぎあるやり方で資源を使う 13 気候変動に具体的な対策を
ESGへの取り組みを通じて達成を目指すSDGs目標	地域および社会への特色ある貢献活動	4 質の高い教育をみんなに 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	地球環境の保全と持続可能性に貢献	7 再生可能エネルギーに力をつける 12 つるぎあるやり方で資源を使う 13 気候変動に具体的な対策を
	人材育成と人権の尊重	5 ジェンダー平等を促進しよう 8 働きがいも経済成長も

営業の概況

当第2四半期連結累計期間の売上高は49,388百万円(前年同期比3.4%減)となりました。損益面におきましては、営業利益は2,468百万円(前年同期比68.3%増)、経常利益は2,870百万円(前年同期比42.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,932百万円(前年同期比57.2%増)となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加が662百万円となり、有形固定資産の取得による支出等により投資活動による資金の減少が5,686百万円となりました。一方、長期借入による収入の増加等により財務活動による資金の増加が3,097百万円となりました。以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の資金は12,135百万円となりました。



JEOLグループの3つの事業ドメイン

理科学・計測機器事業

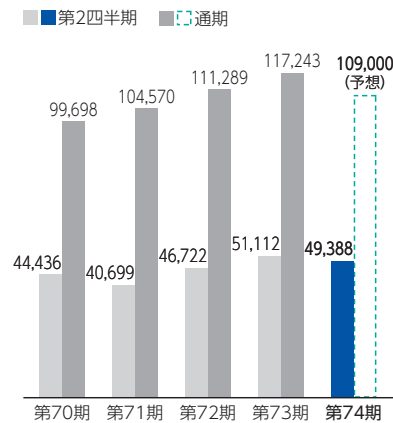
新型コロナウイルス感染症の影響により走査電子顕微鏡を中心とした民需の引合いが低い水準にとどまり、売上高は減少しました。

この結果、当事業の売上高は30,109百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

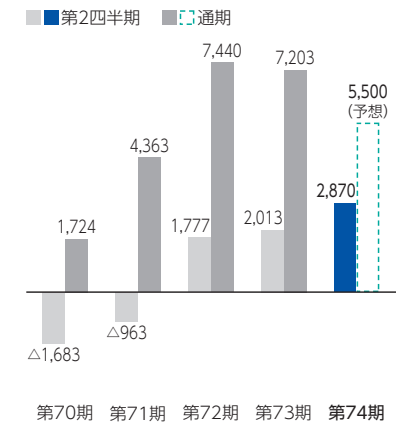


- ▶ **電子光学機器**
透過電子顕微鏡、分析電子顕微鏡、電子プローブマイクロアナライザ、光電子分光装置、オージェマイクロプローブ、電子顕微鏡周辺機器
- ▶ **分析機器**
核磁気共鳴装置、電子スピン共鳴装置、質量分析計(MALDI飛行時間質量分析計、ガスクロマトグラフ質量分析計、液体クロマトグラフ質量分析計)、ポータブルガスクロマトグラフ、X線CT微細構造解析システム
- ▶ **計測検査機器**
走査電子顕微鏡、分析走査電子顕微鏡、電子顕微鏡周辺機器、複合ビーム加工観察装置、集束イオンビーム加工観察装置、薄膜試料作製装置、クロスセクションポリリッシャ™、エネルギー分散形蛍光X線分析装置

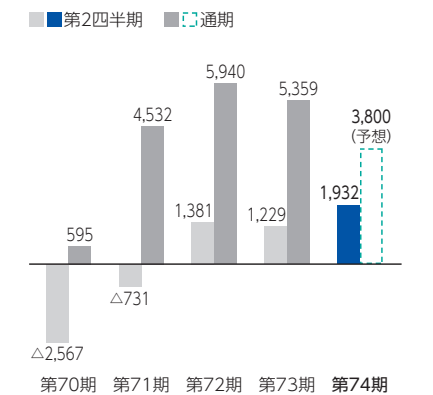
売上高の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益の推移



産業機器事業

電子ビーム描画装置を中心に、受注・売上が堅調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は12,025百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

- ▶ **半導体関連機器**
電子ビーム描画装置(スポットビーム描画、可変成形ビーム描画)



- ▶ **産業機器**
直進形電子銃・電源、電子ビーム蒸着用電子銃・電源、ボンバード蒸着源、プラズマ発生用高周波電源、プラズマソース、高周波誘導熱プラズマ装置、粉末供給装置

医用機器事業

海外における生化学自動分析装置の売上が増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で健康診断等における血液検査が減少したことにより、全体として売上高が低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は7,253百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

- ▶ **医用機器**
生化学自動分析装置、臨床検査情報処理システム



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期末 2020年9月30日現在	前期末 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	99,878	103,036
現金及び預金	13,040	14,425
受取手形及び売掛金	24,484	30,965
商品及び製品	13,075	11,815
仕掛品	43,010	38,775
原材料及び貯蔵品	2,802	2,629
その他	3,727	4,745
貸倒引当金	△263	△321
固定資産	36,832	33,732
有形固定資産	18,460	15,286
建物及び構築物（純額）	6,241	6,190
機械装置及び運搬具（純額）	1,157	1,193
工具、器具及び備品（純額）	4,567	4,938
土地	3,548	1,771
リース資産（純額）	482	574
建設仮勘定	2,463	617
無形固定資産	4,839	5,243
のれん	2,595	2,953
その他	2,244	2,289
投資その他の資産	13,532	13,203
投資有価証券	7,972	7,116
その他	5,567	6,094
貸倒引当金	△7	△7
繰延資産	11	18
資産合計	136,723	136,788

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2020年9月30日現在	前期末 2020年3月31日現在
負債の部		
流動負債	60,642	67,451
支払手形及び買掛金	10,625	12,575
電子記録債務	9,370	10,597
短期借入金	11,734	13,491
1年内償還予定の社債	2,836	1,886
未払法人税等	897	1,651
前受金	12,373	12,431
賞与引当金	1,456	1,457
その他	11,347	13,358
固定負債	29,187	24,256
社債	483	3,126
長期借入金	16,628	9,357
役員退職慰労引当金	26	33
役員株式給付引当金	290	239
退職給付に係る負債	9,385	9,462
資産除去債務	320	320
その他	2,052	1,714
負債合計	89,829	91,707
純資産の部		
株主資本	47,331	45,973
資本金	10,037	10,037
資本剰余金	9,914	9,914
利益剰余金	28,437	27,089
自己株式	△1,058	△1,068
その他の包括利益累計額	△437	△893
その他有価証券評価差額金	2,844	2,296
繰延ヘッジ損益	-	71
為替換算調整勘定	△2,120	△1,965
退職給付に係る調整累計額	△1,162	△1,296
純資産合計	46,893	45,080
負債純資産合計	136,723	136,788

四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
売上高	49,388	51,112
売上原価	29,170	31,307
売上総利益	20,217	19,804
販売費及び一般管理費	17,748	18,337
研究開発費	3,931	3,712
その他	13,816	14,625
営業利益	2,468	1,467
営業外収益	578	1,119
受取利息	20	17
受取配当金	67	69
受託研究収入	27	40
為替差益	113	-
持分法による投資利益	162	769
その他	186	221
営業外費用	176	573
支払利息	81	67
売上債権売却損	3	5
為替差損	-	453
その他	91	46
経常利益	2,870	2,013
特別利益	55	17
固定資産売却益	55	17
特別損失	31	77
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	17	26
投資有価証券評価損	13	50
税金等調整前四半期純利益	2,895	1,953
法人税、住民税及び事業税	799	533
法人税等調整額	163	191
法人税等合計	962	724
四半期純利益	1,932	1,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,932	1,229

(単位:百万円)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	662	2,963
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,686	△1,134
財務活動による キャッシュ・フロー	3,097	△2,168
現金及び現金同等物に 係る換算差額	29	△352
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△1,896	△691
現金及び現金同等物の 期首残高	14,032	9,261
現金及び現金同等物の 四半期末残高	12,135	8,570

会社概要 (2020年9月30日現在)

会社概要

設立 1949年5月30日
 資本金 100億3,774万円
 従業員数 連結:3,204名
 単独:1,957名

役員

代表取締役会長兼CEO	栗原	権右衛門
代表取締役社長兼COO	大井	泉
取締役兼専務執行役員	福山	幸一
取締役兼専務執行役員	二村	英之
取締役兼専務執行役員	中村	温巳
取締役兼専務執行役員	田澤	豊彦
取締役兼常務執行役員	関	敦司
社外取締役	長久保	敏
社外取締役	中尾	浩治
常勤監査役	若狭	崇
常勤監査役	福島	一則
社外監査役	後藤	明史
社外監査役	黒岩	法夫

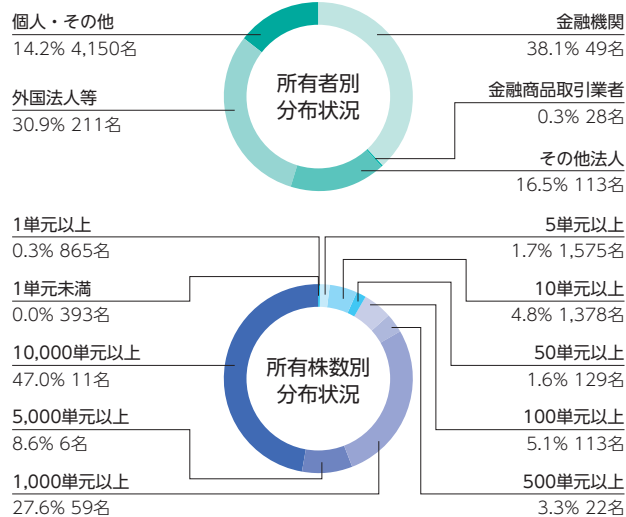
株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 48,857,800株
 株主数 4,551名

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)ニコン	4,300	8.8
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,000	8.2
(株)日本カストディ銀行(信託口)	3,453	7.1
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,814	5.8
(株)三菱UFJ銀行	1,504	3.1
(株)日本カストディ銀行(信託口4)	1,279	2.6
JP MORGAN CHASE BANK 380055	1,242	2.5
日本電子共栄会	1,215	2.5
日本電子グループ従業員持株会	1,130	2.3
日本生命保険(株)	1,042	2.1

(注)持株比率は自己株式(119,318株)を控除して計算しております。

株式分布状況



本店・事業所一覧

- ① 本店・工場
- ② 東京事務所
- ③ 東京支店
- ④ 東京第二事務所
- ⑤ 札幌支店
- ⑥ 仙台支店
- ⑦ 筑波支店
- ⑧ 名古屋支店
- ⑨ 大阪支店
- ⑩ 西日本ソリューションセンター
- ⑪ 広島支店
- ⑫ 高松支店
- ⑬ 福岡支店

海外関係会社

- A JEOL USA, INC. (アメリカ)
- B JEOL (EUROPE) SAS (フランス)
- C JEOL (U.K.) LTD. (イギリス)
- D JEOL (EUROPE) B.V. (オランダ)
- E JEOL (GERMANY) GmbH (ドイツ)
- F JEOL ASIA PTE. LTD. (シンガポール)
- G JEOL TAIWAN SEMICONDUCTORS LTD. (台湾)
- H JEOL (AUSTRALASIA) PTY. LTD. (オーストラリア)
- I JEOL DE MEXICO S.A. DE C.V. (メキシコ)
- J JEOL CANADA, INC. (カナダ)
- K JEOL (Nordic) AB (スウェーデン)
- L JEOL (ITALIA) S.p.A. (イタリア)
- M JEOL Shanghai Semiconductors Ltd. (中国)
- N JEOL SEMICONDUCTORS KOREA Co., Ltd. (韓国)
- O JEOL (MALAYSIA) SDN. BHD. (マレーシア)
- P JEOL DATUM Shanghai Co., Ltd. (中国)
- Q JEOL BRASIL Instrumentos Cientificos Ltda. (ブラジル)
- R JEOL (BEIJING) CO., LTD. (中国)
- S JEOL (RUS) LLC (ロシア)
- T JEOL INDIA PVT. LTD. (インド)
- U JEOL GULF FZCO (UAE)
- V JEOL ASIA (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- W JEOL KOREA LTD. (韓国)
- X INTEGRATED DYNAMIC ELECTRON SOLUTIONS, INC. (アメリカ)
- Y IonSense, Inc. (アメリカ)

国内関係会社

日本電子テクニクス(株)
 日本電子テクノサービス(株)
 日本電子山形(株)
 日本電子インスツルメンツ(株)
 (株)JEOL RESONANCE
 (株)システムインフロンティア
 ミクロ電子(株)
 (株)CeSPIA